

社会貢献活動・環境保全活動

ミッションステートメントに定める目標「自然や社会とやさしく共存共栄する先進的な企業グループとなる」ことを目指し、私たちは社会貢献活動・環境保全活動に取り組んでいます。2019年のトピックスをご紹介します。

■大塚商会ハートフル基金で災害被災地を支援しました

社員と会社のマッチングギフト「大塚商会ハートフル基金」では、災害被災地の支援やNPO団体の支援を行っています。2019年は特に災害被災地の支援に力を入れました。

9月に発生した台風19号の支援のため、日本赤十字社を通じて基金から3,200,000円を寄付しました。

また、災害被災地の復興・福祉向上に貢献する事業を公募し、審査に通過した10団体に合計で2,828,000円を支援しました。10団体の内訳は、東日本大震災支援が8団体、熊本地震支援と西日本豪雨災害支援が各1団体です。



一般社団法人クリエイタスによる宮城県南三陸町立歌津中学校での地元特産品「ほや」の研究を支援



宮城県気仙沼市のドリームキャンプ実行委員会による、子ども食堂を支援

■ブラジルでの植林による環境保全活動

2011年の創業50周年記念事業として、ブラジル・アマパ州マカパに、コピー用紙の原料となるユーカリを植林し「たのくんの森」と命名しました。ユーカリは成長が早く、約6年で伐採できます。2017年から伐採を始め、「たのめーる」オリジナルのコピー用紙「たのくんの森 αエコペーパー」を作成しました。たのめーる事業20周年を記念し、1箱販売する毎に10円を社会貢献団体に寄付する取り組みを行いました。合計で415,920円を公益財団法人日本ユニセフ協会、日本赤十字社、公益財団法人日本補助犬協会に寄付することができました。



2011年



2017年(伐採開始)



たのくんの森 αエコペーパー

■社会貢献セミナーの開催

社員向けのセミナーとして、3月に公益財団法人日本補助犬協会の代表理事である朴善子氏を招き「心のバリアフリー」をテーマに講義をしていただきました。同協会は日本で唯一「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」を育成・認定している団体です。ユニバーサルデザイン2020行動計画に示された「心のバリアフリー」の考え方を学びました。